

東京停車場建築工事報告

設計

議

土木學會誌

第一卷第四號

大正四年八月

工學士 阪岡 末太郎

本工事報告ハ其大部分ハ建築上ノ記事ニ係リ土木ニ關スルモノハ僅カニ其一少部分ヲ占ムルニ過キサルモ記者ハ建築上ノ知識ニ乏シキヲ以テ建築上ニ關スル疑點ハ暫ク之ヲ措キ後節ニハ專ラ土木學上ヨリ之レカ疑點ヲ指摘シ一ハ以テ著者ノ高見ヲ叩キ一ハ以テ廣ク大方諸君子ノ高教ヲ仰カント欲ス

配室上ノ疑點

(一) 何故ニ改札所廣間ト集札所廣間トノ連絡ヲ取ラサルカ
改札所廣間ト集札所廣間トヲ別個所ニ設クルハ乗降客出入上ノ混雜ヲ防クニ大利益アルハ勿論ナルモ全然別個所ニ設ケスシテ之ヲ相隣セシムルカ若シクハ最寄ニ之ヲ設クルトキハ此目的ハ全然達セラル、モノトス乗降客ノ兩廣間ニ來往スルノ必要ハ絶エス發生スルノ常事ニシテ此必要ニ乗降客ハ一々屋外ノ廣場ヲ經由セサルヘカラス道路ノ泥土ニ委セラレタルトキ雨天ノトキ炎天ノトキ凍冬ノトキ烈風ノトキ等ハ之レカ來往ニ際シテ乗降客ヲ苦ムルコト幾何ナルヲ知ラス是レ豈ニ乗客ヲ相手トシテ營業スル當事者ノ第一ニ考察ス可キノ一大要點ニアラスヤ歐米ノ停車場ヲ見ルニ或ハ屋内ニ之レカ連絡通路ヲ設クルアリ或ハ廂屋ノ便ヲ假リテ兩者ヲ連絡ス

ルアルモ全然之レカ連絡ヲ取ラサル本停車場ノ如キ蓋シ稀レナリ

(二) 何故ニ車道ノ出入口ヲ正面ニ設ケタルカ

荷物運搬路ハ乘客ノ出入方面トハ全然之ヲ別ニスルハ乘客ノ危険ヲ防キ廣場ノ破損ヲ防キ來往客ノ來往ヲ妨クルナキ等大利アルヲ以テ此種ノ車道ヲハ建築物ノ裏又ハ側ニ設クルハ適當ノ設計ナリト思惟ス

然ルヲ本設計ニテハ乗降廣間ノ中間ニ之ヲ設ケ宛然兩者來往ノ路ヲ閉チタルノ觀アルハ記者ノ解スル能ハサル所ナリ

(三) 何故ニ帝室専用室ヲ何レカ一方ニ偏設セサルカ若シクハ全然別棟ニセサルカ

御料室ヲ中央ニ設クルトキハ時々乗降客ノ來往ヲ全然杜絶セサルヘカラス即ハチ集札廣間ヨリ改札廣間ニ至リ又ハ旅館ニ至ルカ如キ場合ニハ獨リ(一)ニ記述セルカ如キノ不都合アルニ加フルニ皇族ノ御出入毎ニ少クモ數分又ハ數十分間ハ來往杜絶トナル若シ愚昧ノ徒ニシテ之レカ輦路ヲ横キルカ如キアラハ徒ラニ罪人ヲ擧クルノ不幸ヲ見ルニ至ルモノニシテ是等ハ一ニ御料室ノ位置宜シキヲ得サルニ歸スルモノナリトス

(四) 何故ニ旅館ト改札廣間及集札廣間トノ連絡ナキカ

現設計ニテハ改札廣間ヨリ旅館ニ至リ又ハ旅館ヨリ改札廣間ニ至ルニハ之ヲ集札所ヨリ旅館ニ來往スルニ比シテ較近シト雖モ兩者トモ旅館ニ連絡ヲ有セサルハ一ニシテ本屋正面ノ廣場ハ唯一ノ來往通路ナレハ(一)ニ述ヘタルカ如キ不便ハ全然之ヲ省クニ由ナク結局配室上宜シキヲ得タルモノト稱スル能ハサルナリ

(五) 何故ニ電車昇降通路ヲ本屋ノ正面ニ設ケタルカ

本停車場ノ目的ハ重ニ電車客ヲ取扱フニアアルカ汽車客ヲ取扱フニアアルカ將タ亦兩者ヲ同一ノ必

要程度ヲ以テ取扱フニアルカ其目的何レニアルニモ係ハラズ電車線ハ一種ノ地方線(Local line)ニシテ汽車線ハ通過線(Through line)ナレハ地方線出入口ヲ全然通過線出入口ト別方面ニシ若シクハ別棟トシテ之レカ昇降客ヲ扱フハ兩者ノ乘客乗降上彼此雜鬧及過失ヲ避クルノ利アリトス歐米ニテハ時ニハ同一棟ニテ兩者ヲ扱フノ例ナキニアラサルモ地方線乗降客ヲ全棟ニ取扱フハ大略一般ノ慣習ト稱シテ可ナリ

(六) 驛長室ト事務室トノ連絡ナキコト

事務室ハ中央ヨリ北側ニアリテ驛長室ハ改札廣間ノ側ニアリ兩者ニ何等ノ通路ナキハ萬事ニ付キ事務取扱上非常ニ不便ヲ感スルハ今ヨリ之ヲ想像スルニ難カラサルナリ

以上ハ配室上ニ關シ吾人ノ胸裡ニ浮ヘル疑點ニシテ吾人ノ大方諸君子ト共ニ之ヲ研究シ又之レカ高教ヲ乞ハント欲スル所ナリトス要スルニ御料室及電車通路ヲ全然此建築ヨリ離シ又車道ヲ別方面ニ設クルノ方法ニ出テナハ吾人ノ茲ニ指摘セルカ如キ不利點ハ極メテ容易ニ解決セラル可ク同時ニ公衆ノ利便ハ一層深カリシナラント信セラル

配線上ノ疑點

配線法ニ關シテハ記者ハ現今ノ東京驛ニ於ケル列車數及操業ヲ要スル車輛數ヲ詳ニセサルヲ以テ是等ニ關シテハ一々著者ノ説明ヲ仰カサルヘカラサルモ記者ノ配線上ヨリ推察スル所ニヨレハ現在ノ配線法ハ決シテ適當ナル設計ト稱スル能ハサルカ如シ然レトモ記者ハ單見ヲ述フルノ前ニ先ツ著者ノ説明ヲ乞ハサルヘカラサルモノアリ

金井氏ハ此點ニ關シテ記シテ曰ハク(第一卷第一號二頁)

高架線路ノ東方ニ於テ線路ト外濠トノ中間ハ道路面ト略同一ニシテ茲ニ數十條ノ側線及假機關庫、客車洗塗庫、轉車臺、給水臺、信號所、工作場、從事員詰所等ヲ設ケ專ラ車輛停留、列車ノ編成、車輛

1474

ノ検査、洗滌等ノ用ニ給ス
云々トアリテ其他ニ何等ノ記事ナキヲ以テ之レカ詳細ヲ知ルニ由ナシ故ニ記者ハ著者ニ望ム各種線群ノ目的及有效延長ヲ各別ニ記述シ同時ニ此等線群ニ對スル操業法ヲ説キ又其今日ノ列車數ニ對シ此等線群ノ數及有效延長ハ是非必要ナルノ理由ヲ一々説明セラレンコトヲ切望ニ堪ヘス

何故ニ列車屋根ヲ設ケサルカ

歐米ニテハ終端驛ト中間驛トヲ間ハス主要ナル停車場ニハ必ラス列車屋 (Train shed) ヲ設クルヲ常トス之レ則ハチ乗降客ノ出入ニ當リ全然雨雪ヲ受クルナキヲ期セシモノニシテ乗降客ノ受クル利便幾位ナルヲ知ラス今之レヲ東京驛ニ見ルニ僅ニ乗降臺上ニ吹抜ヲ設クルニ止マルヲ以テ乗降客ハ自由ニ風ニ曝サル、ノ恐アルハ勿論風ニ吹カル、雨雪ニ對シテモ之ヲ避クルニ由ナキナリ乗降臺上待合室ノ設ケナキニアラサルモ唯有ルハ無キニ勝ルト云フニ過キスシテ之レヲ列車屋ヲ以テ全軌道ヲ覆フニ比セハ其利便ノ差固ヨリ比ス可クモアラサルナリ
以上ハ記者ノ疑點ヲ摘記セルモノナレハ是等各點ニ關シ著者ノ高教ヲ仰カント欲スルナリ(完)